啐啄之機

＜校長室だより＞
平成２５年５月１７日
第　２　号
新庄市立泉田小学校
文責：齋藤　宏

「明るい あいさつ推進校」としてがんばります！

本校児童が、あいさつを元気よくしているので、今年度、「小さな親切運動山形県実行委員会」から、**「明るい　あいさつ推進校」**として取り組んでほしいと依頼されました。

４月早々、運営委員と６年生が、毎朝、校門や昇降口前であいさつ運動を展開しています。その効果が既に表れてきており、学校前では、子どもたちの元気なあいさつが響いています。

児童会でも、今年度の児童会目標に「明るいあいさつのできる、思いやりあふれる泉田っ子」を掲げ、児童会総会では、あいさつ運動三つのポイント「明るく・笑顔で・自分から」を確認し、更に、学年毎に「あいさつがんばり宣言」を決めて、掲示することに決まりました。そして、それぞれの学年の「あいさつ宣言」は、右のように決まりました。児童一人一人が明るいあいさつを心掛け、さわやかな１日のスタートができることを期待しています。

シリーズ「小中一貫教育校開校に向けて」①　今年のキーワードは「交流」

２７年度の小中一貫教育校開校に向けた準備の一つとして、今年度は、３種類の「交流」を計画しています。一つ目が、小学校３校の児童の交流。二つ目が、小学校と中学校の児童生徒の交流。三つ目が、小学校と中学校の教員の交流です。

小学校の児童交流は、同学年児童の交流で、それぞれ年間３回を予定しています。生活科や体育や音楽など、子どもたちの交流が深まるような学習や活動を計画し、取り組んでいきます。中には、神室少年の家での自然の中で活動（５年生）や市民スキー場でのスキー学習（６年生）なども計画されています。二つ目の児童・生徒の交流は、小学校中学年と中学１年生、小学校高学年と中学２年生、小学校低学年と中学３年生がペアになって、年１回活動します。先日５月９日には、小学校中学年と中学１年生ペアが、プランターへの「花苗植え」を一緒にしました。写真のように楽しい活動になりました。三つ目の教員交流は、今年と来年の２年間で、全員がそれぞれ小学校から中学校へ、中学校から小学校へ体験研修に行く予定です。２年後の小中一貫教育校のスムーズなスタートをめざしています。

シリーズ「小中一貫教育校開校に向けて」②

「萩野地区小中一貫教育校〔愛称〕募集中」

５月１日から小中一貫教育校の愛称を募集しています。応募期間は５月３１日までです。

本校にも、応募用紙や応募箱を置いていますので、本校にお立ち寄りの際には、どうぞご応募ください。また、子どもたちの励みや誇りになるような素敵な愛称を、是非、家族みんなでお考えください。一人一回応募できます。家族全員で応募することもできます。まだ、応募していない方は、どうぞお早めにご応募くださるようお願いいたします。

幼保小スタートプログラム　泉田保育所とも連携深める！

本校では、小中一貫教育だけでなく、今年度から、幼稚園・保育所等と小学校の互いの教育観を理解し合い、「自主性」と「思いやり」をはぐくみ、接続をスムーズにする取り組み「幼保小スタートプログラム」をスタートしました。

特に、今年度は、隣接する泉田保育所との連携を強め、互いの職員の体験研修や、年長児と小学１年生の交流活動を行うなどして、教育観の糊しろの部分を幅広くし、連携して子どもの成長を図り、小学校への適応をスムーズにしようと取り組んでいます。

（保育士さんの小学校体験研修）

「子ども110番」今年度もどうぞよろしくお願いします！

２７軒の子ども１１０番のみなさま、長年ご継続いただき誠にありがとうございます。今年度も引き続き、子ども１１０番をお引き受けくださる所が多く、大変ありがたく感謝申し上げます。あらためて、今年度のお願い状をお持ちいたしました。あいにくご不在のお宅には、大変失礼ではありましたが、郵便受けに入れさせていただきました。お陰さまで、昨年度は、不審者による事件や被害がなく、児童らは、安心して、登下校することができました。今年度も、不審者の被害や何らかの危険回避の「子どもたちの避難所」として、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。また、新たに、子ども 110 番としてご協力いただける方は、お知らせくださいますようお願いいたします。　連絡先[泉田小　２５－２３０２　教頭]